

お住まいの役立ち情報



4月1日からの消費税増税で、私たちの生活はどう変わる？

4月1日より消費税がアップして8%に。たかが3%？されど3%？この増税分は、私たちの暮らしに、どんな影響を与えるのでしょうか？

■物価は上昇傾向に

今回4月からの消費税増税は3%分。諸説ありますが、世帯の支出としておおよそ年間5万円～10万円。

月々おおよそ5000円～10000円支出が増えると考えておけばよいでしょう。

■増税によって、買い物シーンも変化する？

消費税は、ほぼすべてのものに課税されています（学校の授業料、家賃、土地代などは非課税）。100円ショップは105円から108円、100円回転寿司も108円に。

いわゆる商品だけでなく、水道光熱費、交通費、宿泊費、郵便料金、レジャー費、通信費などの分野にも課税されていることをお忘れなく。

そのため、増税により郵便はがきは50円が52円に、JR山手線の運賃は切符で購入する場合の最低料金130円が140円になります。

■増税をきっかけに、経済の動向に敏感になろう

今回の増税8%は、次の消費税10%のための第1ステップにすぎません。そして、日々の物価は税金だけでなく政府の経済政策や国際的な為替なども大きく影響されます。

■消費税率は5%→8%に増税になった際に私たちの生活にどういった影響をされるのか

➤ 車を購入する場合（例えば、乗用車の購入）

4月以降、消費税率が8%になることは決まっておりますが、消費税の他にかかる2014年4月以降の自動車諸税（自動車重量税、自動車取得税、自動車税または軽自動車税）につきましては、まだ正式に決まっていないため、自動車諸税の変更によっては、自動車購入時の支払額が変わる可能性があります。

				
現行価格 税込5%	1,180,000円～ 1,445,000円	1,690,000円～ 2,198,000円	2,350,000円～ 2,800,000円	3,230,000円
新価格 税込8%	1,213,715円～ 1,486,285円	1,738,286円～ 2,260,800円	2,417,143円～ 2,880,000円	3,322,285円
差額 (+)	33,715円～ 41,285円	48,286円～ 62,800円	67,143円～ 80,000円	92,285円



➤ 家を建てる場合

費税率を2014年4月に8%、2015年10月に10%に引き上げる消費税法案が採決されたことにより、「家を建てるなら消費税増税前と消費税増税後にどう変わるのか」前提条件は、老朽化による建替えや土地を購入して建物を新築する工事請負代金税抜き2000万円の注文住宅。

現時点の工事請負代金は、2000万円×1.05%の税込み2100万円。

2014年4月に+3%増税された場合、2000万円×1.08%の税込み2160万円で+60万円の負担増。また、2015年10月に+5%増税された場合、2000万円×1.10%の税込み2200万円となりさらに+40万円の負担増になることは明白です。

よって、注文住宅を2014年4月までに建築できれば2014年4月以降に建築するより60万円トクすることになりますし、2015年10月以降に建築するより100万円トクすることになるわけです。



地震対策のチェックポイント（家具の耐震）

東日本大震災発生から11日で3年です。地震発生により様々な想定外のリスクをはらんでいます。

あなたの住まいは大丈夫？

地震による負傷の多くは、家具類の転倒・落下が原因です。転倒・落下した家具につまずいたり、家具が倒れたときに割れた食器やガラスなどが、多くの負傷原因となり、大変危険です。地震の際、家具は必ず倒れるものとして考え、災害に備えることが必要です。

まず、5つの事柄を実践しましょう。

- (1) 家具の倒れる向きを考えて配置する
- (2) 家具部屋をつくる
- (3) 作りつけの家具を使う
- (4) 寝室には家具を置かない
- (5) 家具を置く場合には固定する

また、家具固定の際には、壁や天井、床などに対し、複数の固定器具を併用するのが理想的です。家具同士の連結も効果があります。

以下の転倒防止器具をご参考ください。

- (1) L字型金具
- (2) ポール式器具（つっぱり棒）
- (3) ストッパー式器具
- (4) 粘着マット・ベルト

